

**測定記録支援システム BLuE
iPadOS 版 KEW3552BT
ユーザーズマニュアル**

第2版

**2023年1月30日
株式会社アネステック**

目次

1 概要	1
2 動作条件	1
3 システム仕様	1
4 用語説明	2
5 取扱説明	3
5.1 測定を行う (Excel)	3
5.2 測定を行う (PDF)	11
5.3 その他の操作	21
5.3.1 KEW3552BT の設定	21
6 FAQ	24

1 概要

本マニュアルは iPadOS 版 BLuE の特定測定器向けマニュアルです。

本マニュアルでは共立電気計器株式会社 KEW3552BT の操作方法について説明します。

2 動作条件

当システムは、下記スペックを満たす iPad 上で動作させる事を前提とします。

ハード	iPad 5 以降
	その他の動作条件は当該 iPad の動作条件に準じます。

3 システム仕様

当システムは、下記環境で動作させる事を前提とします。

OS	iPadOS 14.8 以降
BLuEApp	BLuEApp 1.3 以降
Excel バージョン	Excel for iPad 2.42 以降 (以下、Excel と表記)
PDF アプリケーション	BLuE PDF Editor 1.3 以降 (以下、PDFEditor と表記)
通信方式	Bluetooth 4.0 (Bluetooth Low Energy) 以降

4 用語説明

本書で使用する用語の説明です。

- タップ
指 1 本で画面に触れすぐに離すジェスチャ。リンクの移動やボタンの押し上げなどよく使われる基本動作。
- ダブルタップ
短い時間でタップを 2 回行うジェスチャ。
- ロングタップ
タップで画面に触れている時間を長くしたジェスチャ。
- ドラッグ
タップ/ロングタップで画面に触れたのち指を移動させるジェスチャ。持って動かすイメージ。
- スワイプ
画面上で指を移動させてから離すジェスチャ。払うイメージ。
- ピンチイン/ピンチアウト
画面に 2 本の指で触れ、2 本の間隔を近づけるとピンチイン、2 本の間隔を離すとピンチアウト。
- ドック
iPadOS で最近使ったアプリ、登録したアプリを簡単に呼び出すための機能。ホーム画面で画面下に表示されている。
- SlideOver
起動中のアプリの上に別のアプリを小さい画面で起動する手法。複数のアプリを同時に起動できる。
- SplitView
画面を分割し 2 つのアプリを起動する手法。複数のアプリを同時に起動できる。
- 前面に表示
SlideOver または SplitView の状態でアプリケーションが画面に表示されている状態。

5 取扱説明

5.1 測定を行う (Excel)

共通操作マニュアル(iPad 版)を参照して、測定器との接続まで完了させます。

尚、測定においては Web 版 Excel においても同様の操作となります。

① 測定値取得の開始

接続中の機器が表示されている状態で BLuEApp の開始ボタンをタップすると測定値の取得が開始されます。



② Excel に測定値を反映する

Excel 上の測定値を入力したいセルをタップします。KEW3552BT のレンジ切り替えスイッチを測定したいレンジに合わせてます。

後述の設定により BLuEApp の測定方法と KEW3552BT 本体のレンジが一致していない場合測定値の出力はできません。

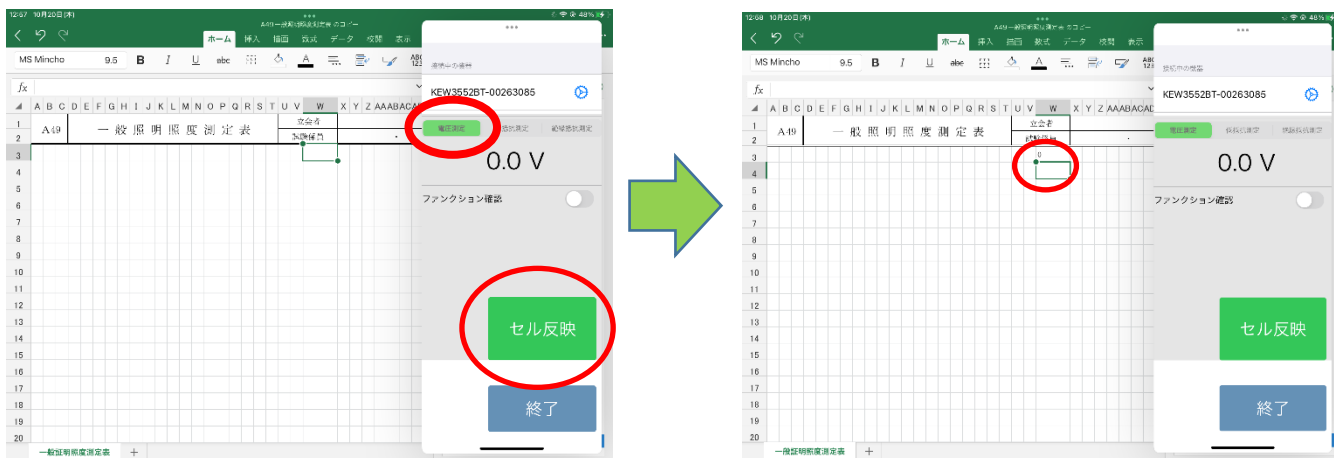
(ア) ファンクション確認が OFF の場合

KEW3552BT 本体のレンジ切り替えスイッチを操作すると、BLuEApp の測定方法が自動で変更されます。測定方法が正しいことを確認後、セル反映ボタンをタップすると測定値が選択しているセルに反映されます。

a 電圧測定

KEW3552BT 本体にて「V/Ω」にレンジを合わせて電圧測定モードにする。

KEW3552BT 本体の測定スイッチ操作なしで BLuEApp 画面に「セル反映」ボタンを表示する。

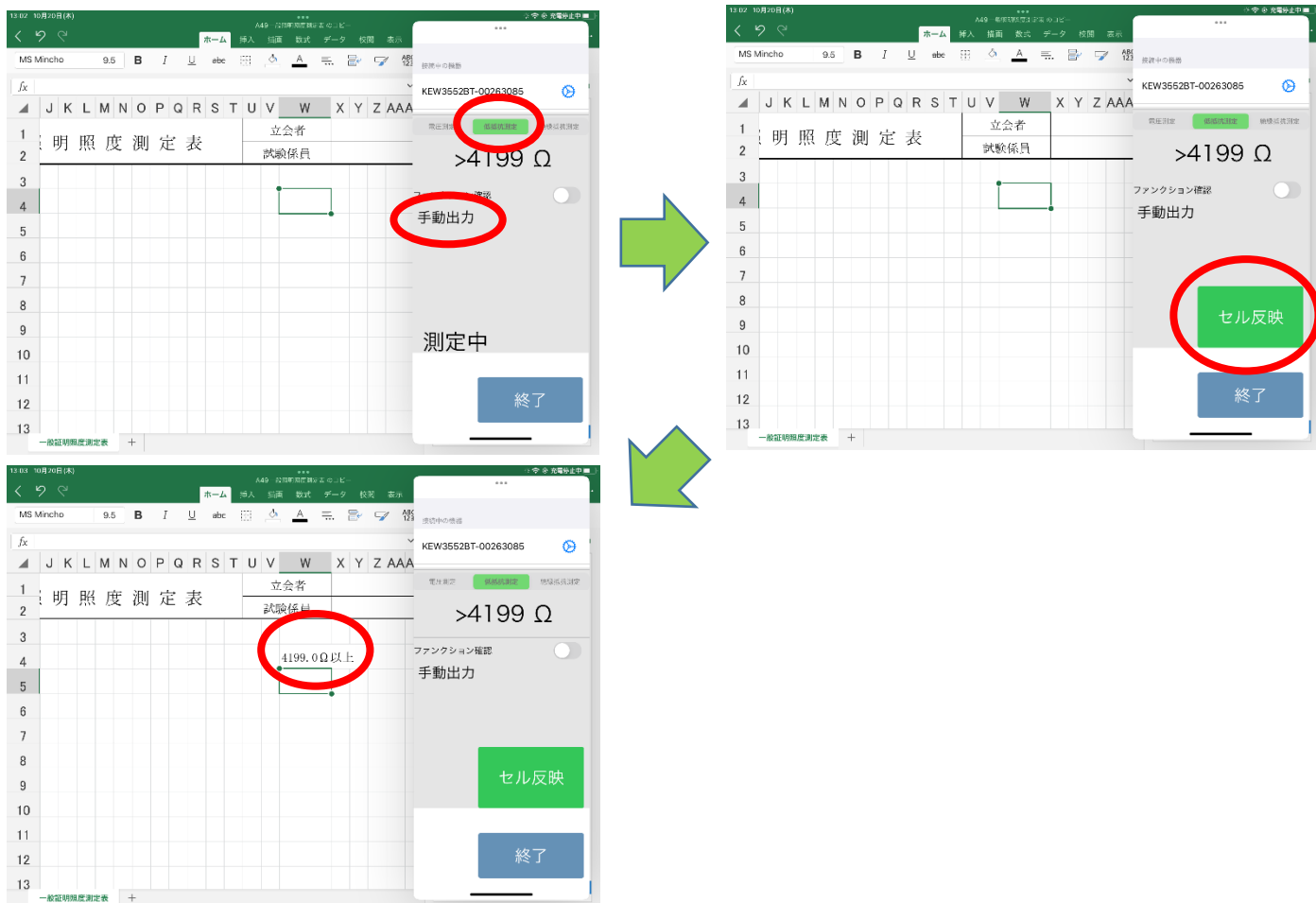


b 低抵抗測定

KEW3552BT 本体にて「V/Ω」にレンジを合わせ、「SELECT」ボタンの長押し操作により低抵抗測定モードにする。反映方法の設定により、以下の測定を行う。

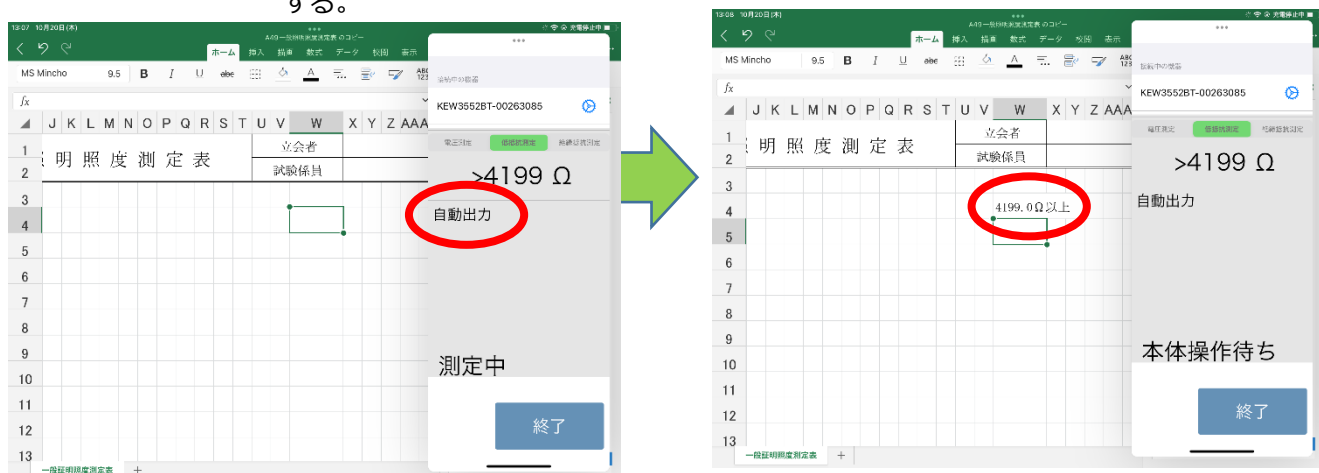
① 手動の場合

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと BLuEApp 画面に「セル反映」ボタンを表示するので、押下すると測定値を指定のセルに反映する。



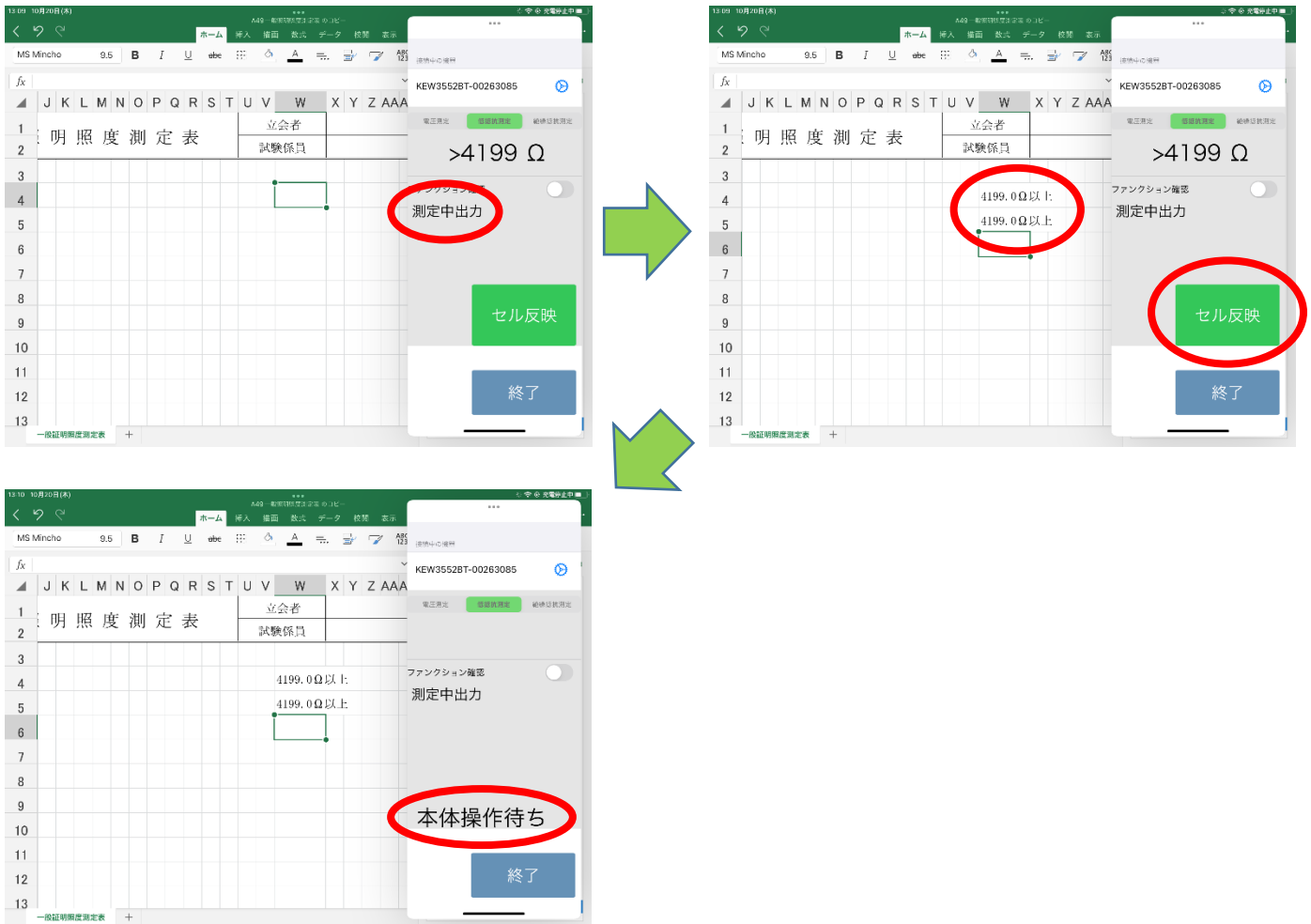
② 自動の場合

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと指定したセルに測定値を反映する。



③ 測定中出力の場合

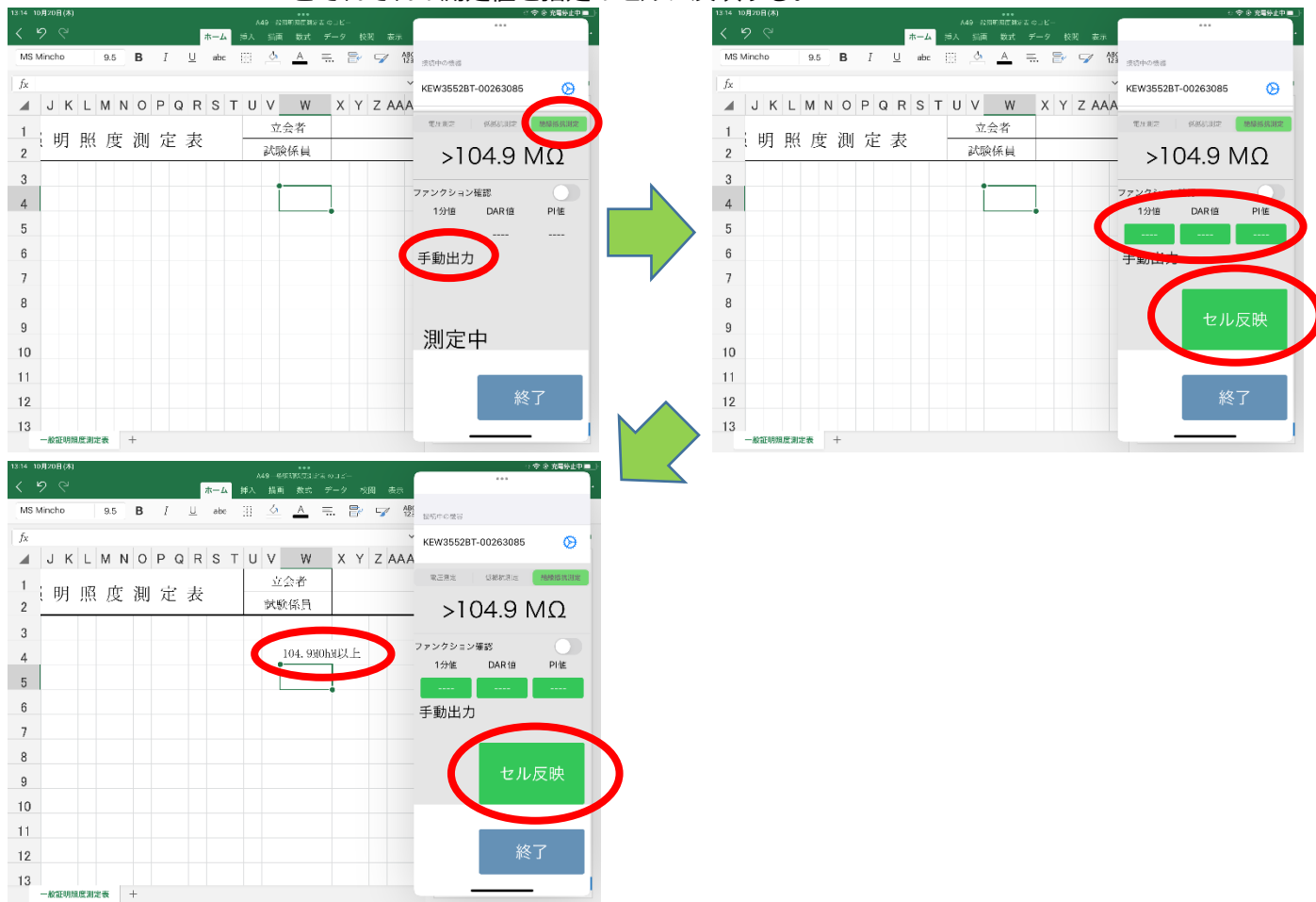
本体操作待ちの状態において、KEW3552BT 本体の測定スイッチ長押し中に、「セル反映」ボタンが表示され、測定器本体の測定スイッチを長押ししている間は「セル反映」ボタンをタップするたびに選択しているセルに測定値を反映する。測定器本体の測定スイッチを離すと本体操作待ちの状態に戻る。



C 絶縁抵抗測定

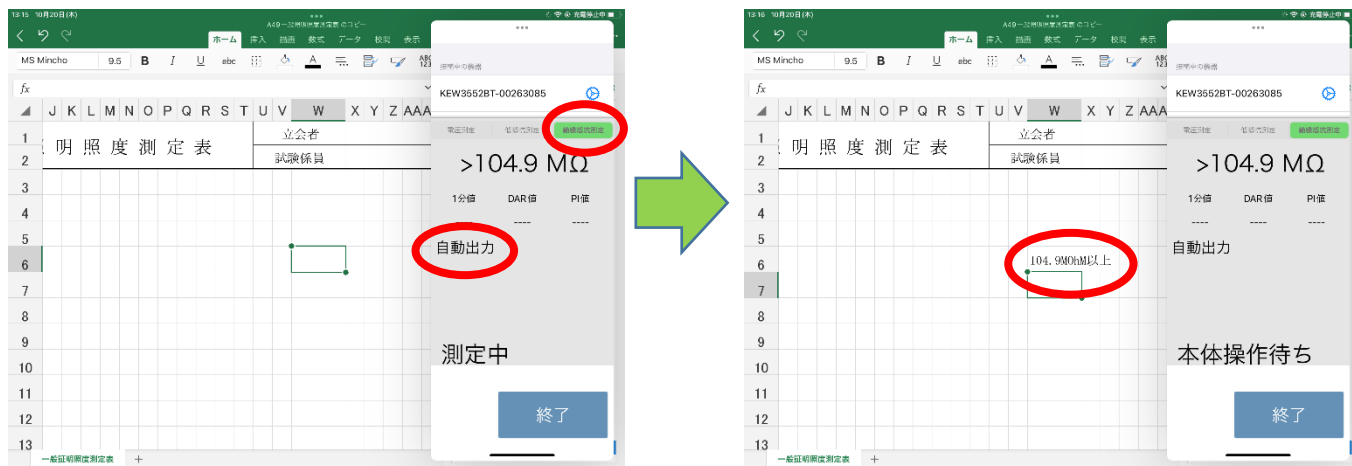
① 手動の場合

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと BLuEApp 画面に 1 分値ボタン、DAR 値ボタン、PI 値ボタン、「セル反映」ボタンを表示するので、押下するとそれぞれの測定値を指定のセルに反映する。



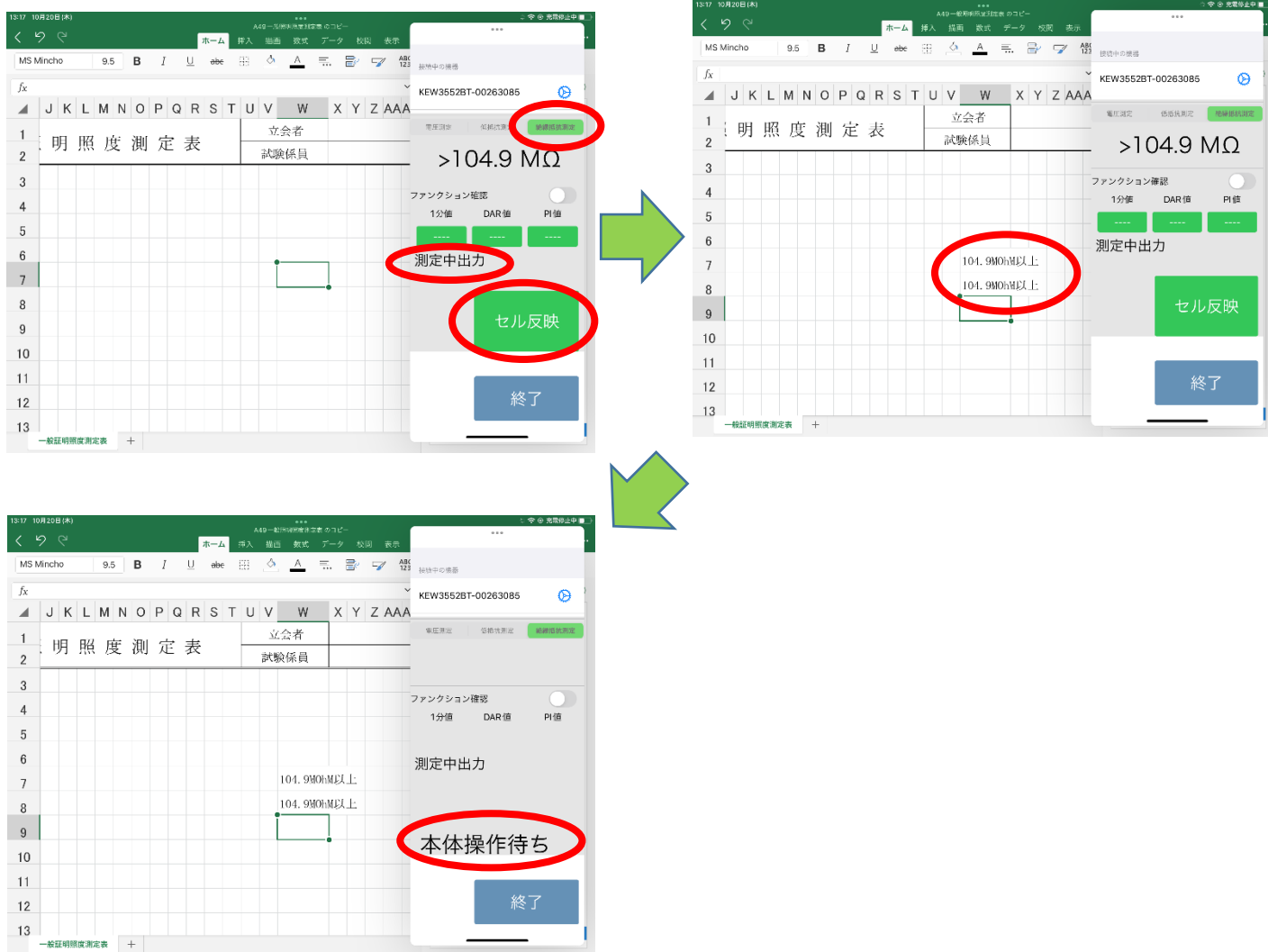
② 自動の場合

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと、指定したセルに測定値を反映する。1 分値、DAR 値、PI 値は取得できない。



③ 測定中出力の場合

本体操作待ちの状態において、KEW3552BT 本体の測定スイッチ長押し中に、1分値ボタン、DAR 値ボタン、PI 値ボタン、「セル反映」ボタンが表示され、測定器本体の測定スイッチを長押ししている間は各ボタンをタップするたびに選択しているセルに測定値を反映する。測定器本体の測定スイッチを離すと本体操作待ちの状態に戻る。



(イ) ファンクション確認が ON の場合

KEW3552BT 本体のレンジと BLuEApp の測定方法が一致していない場合、測定値の出力はできない。BLuEApp の測定方法を KEW3552BT のレンジに合わせ測定を行うこと。

a KEW3552BT 本体のレンジ切り替えスイッチを操作

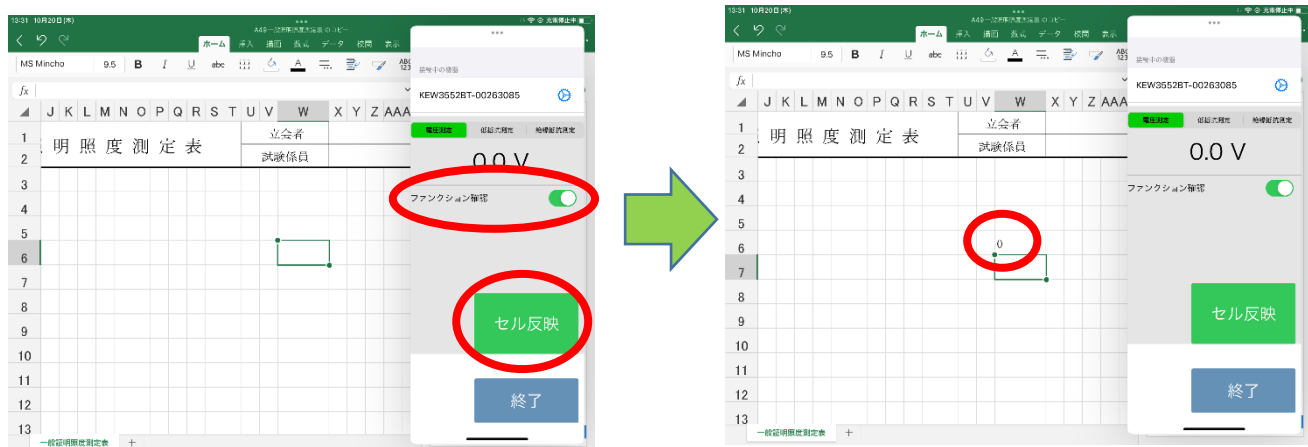
KEW3552BT 本体のレンジ切り替えスイッチを操作しても BLuEApp の測定方法は変更されません。

b BLuEApp の測定方法を操作

KEW3552BT 本体のレンジに合わせ BLuEApp の測定方法を変更する。画面中央の測定方法を選択して KEW3552BT 本体のレンジと一致させる。

c 測定値を反映する

ファンクションが一致している状態で、「セル反映」ボタンをタップすると、測定値が選択しているセルに反映される。



低抵抗測定、絶縁抵抗測定時に測定値が上限を超える（オーバーレンジ）場合、BLuEAppの画面には測定器から送られた測定値が表示されます。Excelに出力される測定値は以下のとおりとなります。測定器の設定から出力表示形式を変更することができます。**P.13「5.3.1 KEW3441BTの設定」**を参照ください。

・低抵抗測定時

	上限値	出力される測定値	単位
低抵抗測定	4199.0Ω	4000.0、4199.0	Ω、Ohm、以上

・絶縁抵抗測定時

定格測定電圧（レンジ）	上限値	出力される測定値	単位
50V	104.9MΩ	100.0、101、104.9	Ω、OhM、Ohm、以上他
100V	209.9MΩ	200.0、209.9	Ω、Ohm、以上他
125V	250.0MΩ	250.0、262.4	Ω、Ohm、以上他
250V	524.0MΩ	500.0、524.0	Ω、Ohm、以上他
500V	2099.0MΩ	2000.0、2099.0、	Ω、Ohm、以上他
	20.99GΩ	20.0、20.99	
1000V	4199.0MΩ	4000.0、4199.0、	Ω、Ohm、以上他
	41.99GΩ	40.0、41.99	

③ 測定値取得の終了

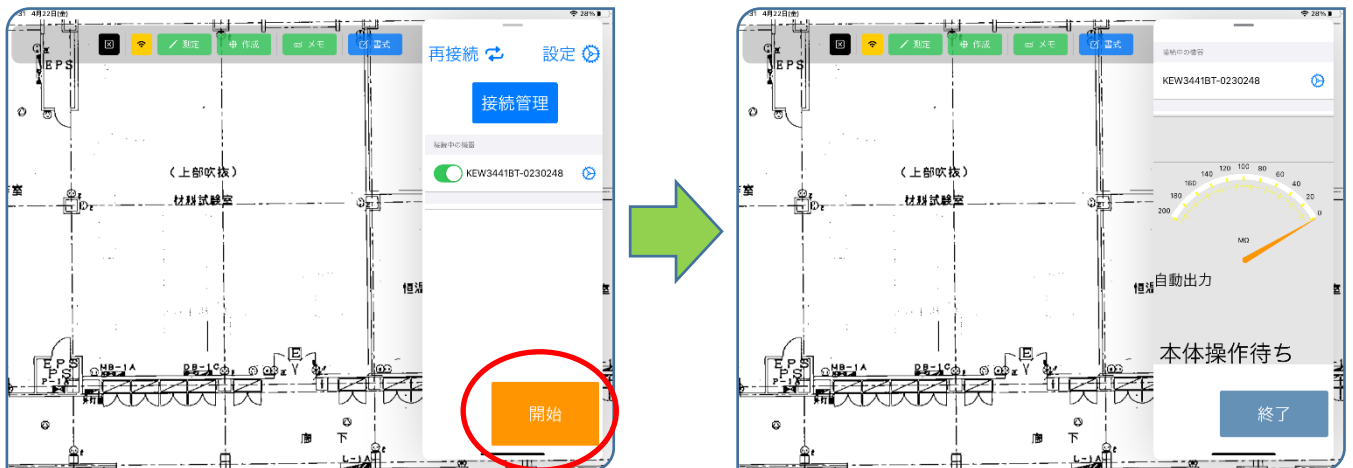
終了ボタンをタップすると測定開始前の画面に戻ります。

5.2 測定を行う (PDF)

共通操作マニュアル(iPad版)を参照して、測定器との接続まで完了させます。

① 測定値取得の開始

接続中の機器が表示されている状態で BLuEApp の開始ボタンをタップすると測定値の取得が開始されます。



② PDF に測定値を反映する

測定ボタンをタップすると測定モードになります。測定ポイントをタップすると測定中のダイアログが表示され KEW3552BT 本体の操作待ちになります。測定の準備ができれば KEW3552BT の測定スイッチを押下します。押下中は BLuEApp に測定中と表示され測定中の測定値が画面中央に表示されます。測定スイッチの押下を終了すると測定値が確定します。後述の設定により測定値が確定した後の動作が変わります。

測定中のダイアログのキャンセルを行うことで測定のキャンセルが可能です。

(ア) ファンクション確認が OFF の場合

KEW3552BT 本体のレンジ切り替えスイッチを操作すると、BLuEApp の測定方法が自動で変更されます。測定方法が正しいことを確認後、「測定値出力」ボタンをタップすると測定値が選択している測定ポイントに反映されます。

a 電圧測定

KEW3552BT 本体にて「V/ Ω 」にレンジを合わせて電圧測定モードにする。

KEW3552BT 本体の測定スイッチ操作なしで測定ポイントをタップ後に

BLuEApp の「測定値出力」ボタンを表示し、押下すると測定値を反映する。



b 低抵抗測定

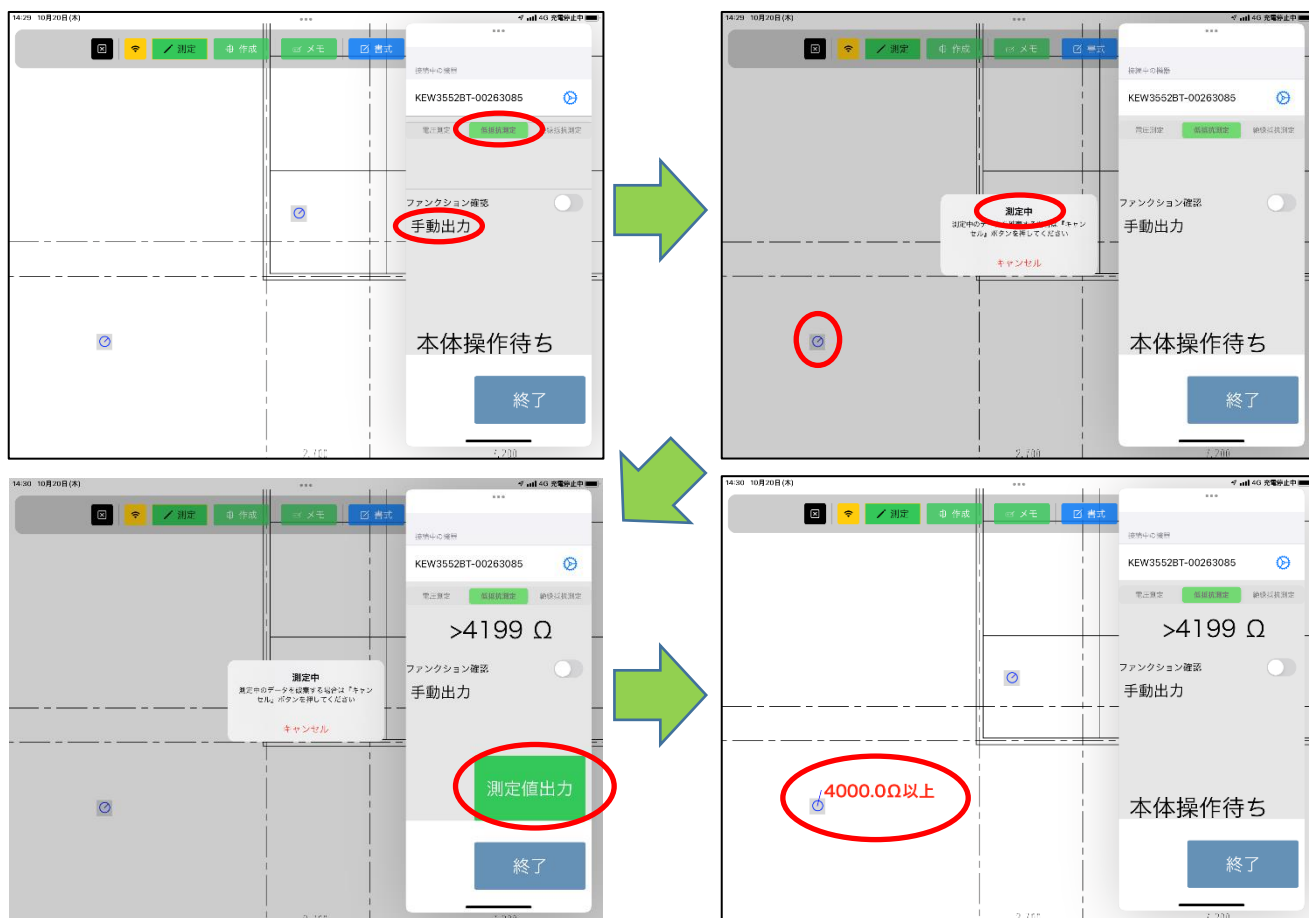
KEW3552BT 本体にて「V/ Ω 」にレンジを合わせ、「SELECT」ボタンの長押し操作により低抵抗測定モードにする。反映方法の設定により、以下の測定を行う。

① 手動の場合

ファンクションが正しいことを確認し PDF 上の測定ポイントをタップします。

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと BLuEApp 画面に

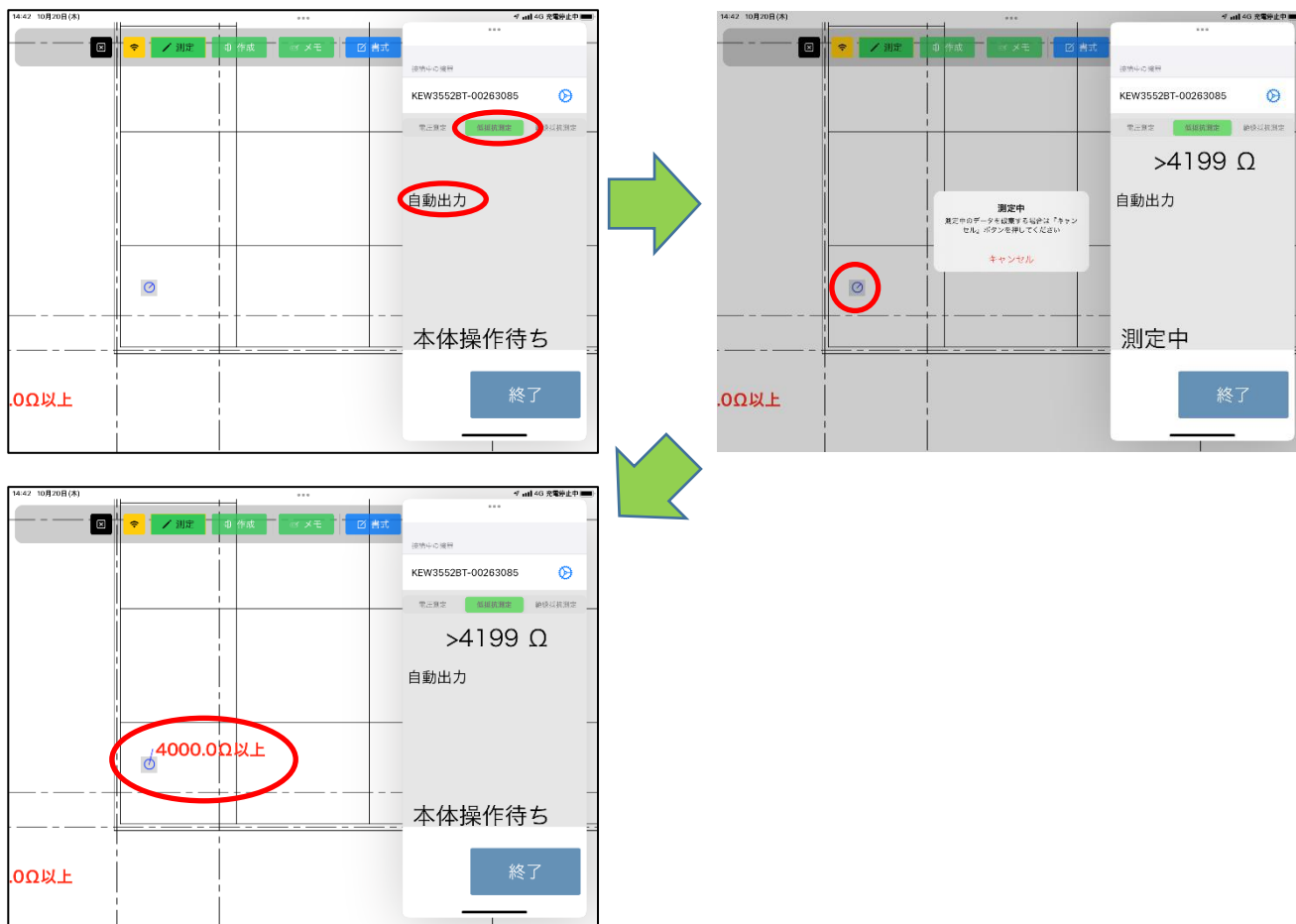
「測定値出力」ボタンを表示するので、押下すると測定値を反映する。



② 自動の場合

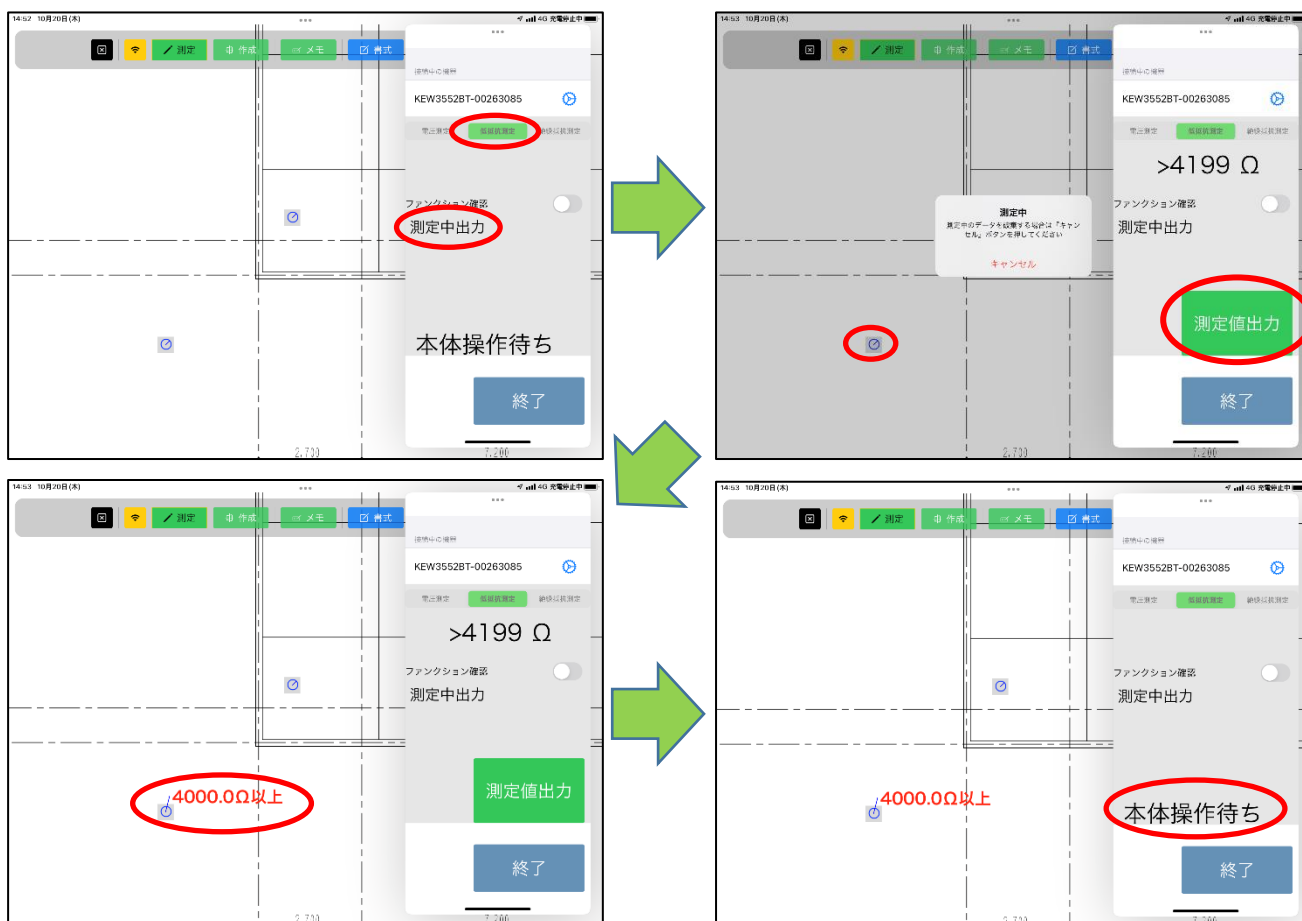
ファンクションが正しいことを確認し PDF 上の測定ポイントをタップします。

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと指定した測定値を反映する。



③ 測定中出力の場合

ファンクションが正しいことを確認し PDF 上の測定ポイントをタップします。
 本体操作待ちの状態において、KEW3552BT 本体の測定スイッチ長押し中に、
 「測定値出力」ボタンが表示され、測定器本体の測定スイッチを長押ししている
 間に「測定値出力」ボタンをタップすると測定値を反映する。測定器本体の測定
 スイッチを離すと本体操作待ちの状態に戻る



c 絶縁抵抗測定

① 手動の場合

ファンクションが正しいことを確認し PDF 上の測定ポイントをタップします。
 KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと BLUeApp 画面に 1 分値、
 DAR 値、PI 値、「測定値出力」ボタンを表示するので、
 押下すると測定値を反映する。



② 自動の場合

ファンクションが正しいことを確認し PDF 上の測定ポイントをタップします。

KEW3552BT 本体の測定スイッチを長押し、離すと、測定値を反映する。



③ 測定中出力の場合

ファンクションが正しいことを確認し PDF 上の測定ポイントをタップします。
 本体操作待ちの状態において、KEW3552BT 本体の測定スイッチ長押し中に、
 1 分値、DAR 値、PI 値、が「測定値出力」ボタンが表示され、測定値を反映す
 る。測定器本体の測定スイッチを離すと本体操作待ちの状態に戻る。



(イ) ファンクション確認が ON の場合

KEW3552BT 本体のレンジと BLuEApp の測定方法が一致していない場合、測定値の出力はできない。BLuEApp の測定方法を KEW3552BT のレンジに合わせ測定を行うこと。

a KEW3552BT 本体のレンジ切り替えスイッチを操作

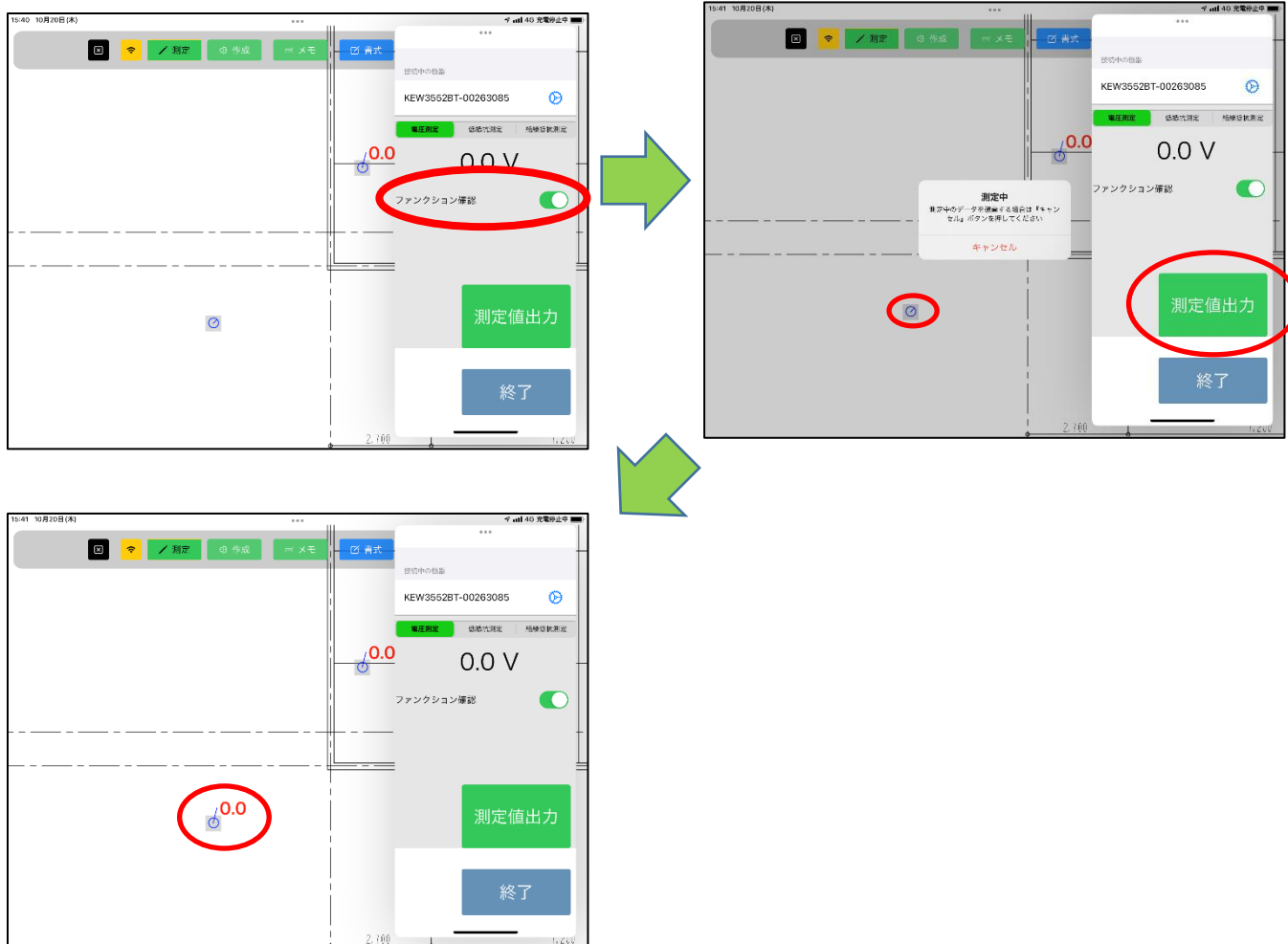
KEW3552BT 本体のレンジ切り替えスイッチを操作しても BLuEApp の測定方法は変更されません。

b BLuEApp の測定方法を操作

KEW3552BT 本体のレンジに合わせ BLuEApp の測定方法を変更する。画面中央の測定方法を選択して KEW3552BT 本体のレンジと一致させる。

c 測定値を反映する

ファンクションが一致している状態で、「測定値出力」ボタンをタップすると、測定値が反映される。



測定値が上限を超える（オーバーレンジ）場合、BLuEAppの画面には測定器から送られた測定値が表示されます。PDF Editorに出力される測定値は、Excelと同様ですので、P.10の表を参照してください。また、測定器の設定から出力表示形式を変更することができます。**P.13「5.3.1 KEW3441BTの設定」**を参照ください。

③ 測定値取得の終了

測定終了ボタンをタップすると測定開始前の画面に戻ります。

5.3 その他の操作

5.3.1 KEW3552BT の設定

① 測定方法

測定する方法を選択します。

(ア) 電圧測定

設定項目：ファンクション確認、レンジ設定

(イ) 低抵抗測定

設定項目：ファンクション確認、反映方法、レンジ設定

(ウ) 絶縁抵抗測定

設定項目：ファンクション確認、反映方法、レンジ設定



② レンジ設定

KEW3552BT の測定値を上位 AP に表示する際の閾値、単位、書式を設定します。

(ア) 測定レンジ・定格測定電圧

KEW3552BT で使用可能な測定レンジ・定格測定電圧ごとにレンジ設定を行うことができます。

- 電圧測定レンジ
- 低抵抗測定レンジ
- 50V
- 100V
- 125V
- 250V
- 500V
- 1000V

(イ) レンジ選択

- オーバーレンジ

測定値が設定された上限値を超えた場合の出力形式を設定します。

★任意の数値を入力したい場合

赤枠欄に任意の数値を入力(例として、“20”を入力)。ただし入力しただけでは反映されない
ので、入力後、青枠欄をタップし、先ほど入力した値を選択することで設定が完了。

そのほか、「Ω」をタップすると「Ohm、Ω、なし」に、

「以上」をタップすると「以上、or more、and over、なし」にそれぞれ変更が可能。



- レンジ内

測定値が設定された上限値にも下限値にも達していない場合の出力形式を設定します。

※手順については、オーバーレンジと同様。

- アンダーレンジ

測定値が設定された下限値を下回った場合の出力形式を設定します。

※低抵抗測定、絶縁抵抗測定の場合、下限値は 0 に設定されているため、0 未満の測定値が発生しない KEW3552BT の測定値には適用されません。

※手順については、オーバーレンジと同様。

6 FAQ

システム仕様

Q. iPhone シリーズで動作しますか？

A. iPhone シリーズでは動作しません。iPad のみと利用可能となります。

また、OS のバージョンは「iPadOS14.8」以降を使用してください。

Q. BLuEApp が前面に表示されていない状態で測定値を出力できますか？

A. BLuEApp が前面に表示されていない状態で測定値を出力することはできません。

測定器

Q. 測定器の使い方を知りたい。

A. 測定器の説明書をご確認ください。

Excel

Q. Excel の基本的な使い方を知りたい。

A. Microsoft のヘルプ、サポートをご確認ください。